

一般国道9号 おちゃやがわ 御茶屋川交差点改良事業

事業概要

当該箇所は、国道9号と県道米子伯太線が交わる交差点であり、交通量が多く右折車線が無いため、右折待ち車両の滞留への追突事故が多発している箇所である。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線設置により直進阻害解消、車両の誘導を適正化することにより交差点における事故防止および交通渋滞の解消を図るものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

令和2年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



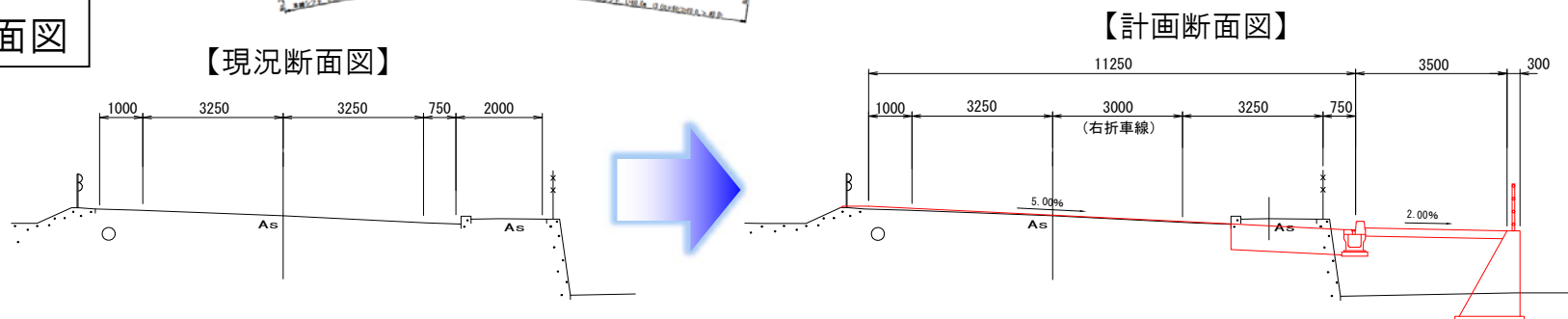
事業箇所図



状況写真



標準断面図



一般国道9号 峰谷交差点改良事業

みねたに

事業概要

当該箇所は、右折車線のない交差点となっており、右折車両があると後続の車両が滞留してしまうため、朝夕のピーク時を中心に滞留が発生している。このため、信号が青でも減速や停車が頻発し、追突事故が多く発生する危険な状態となっている。

本事業は、事故の要因である右折待機車両による後続車両の停止・減速を減らすため、右折車線相当幅員(W=1.5m)を確保し、右折待機車の横を通過可能にすることで、安全・円滑な交通流を確保するものである。

令和2年度は、調査設計及び用地補償を実施する予定である。



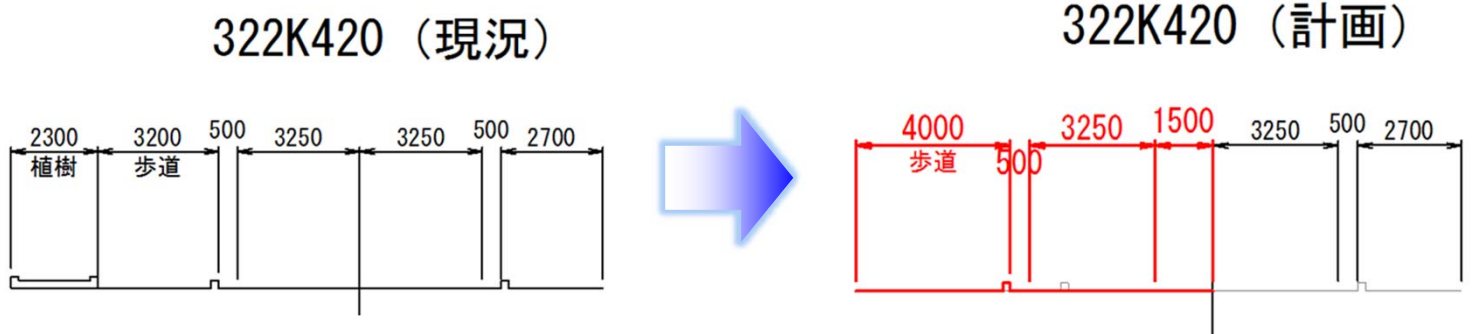
事業箇所図



状況写真



標準断面図



一般国道9号 ^{いや} 揖屋自転車歩行者道整備事業

事業概要

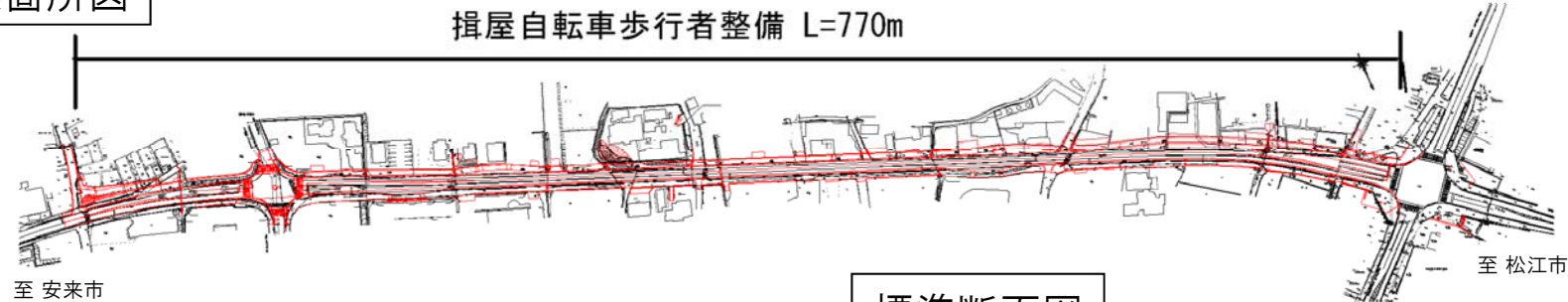
当該箇所は、北側にしか歩道がなく、特に朝は東出雲中学校に自転車通学する生徒と松江市内に自転車通学する高校生と交錯することから、自転車通学の一部は南側車道を通行し、また、沿道には商業施設等が多くあるため、歩行者も多く非常に危険な状態となっている。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、自転車歩行者道と電線共同溝の整備を行い、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

令和2年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



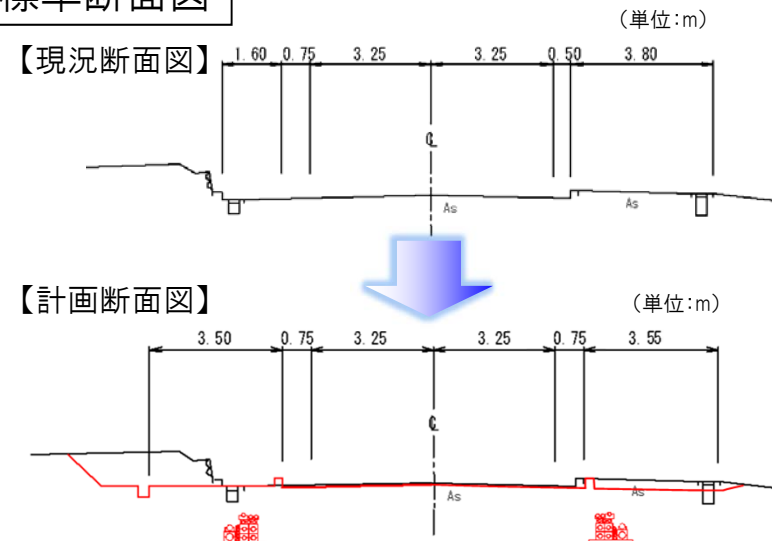
事業箇所図



状況写真



標準断面図



一般国道9号 出雲郷東交差点改良事業

あだかえ ひがし

当該箇所は、山陰道の有料区間と無料区間の境である東出雲ICと接続しており、IC利用者が多く、上下線ともに右折車の交通量が多くなっている。このため、慢性的な渋滞が発生し、渋滞により滞留した車両が要因となり、追突事故が発生している。本事業は、車線の増設を行い、車線運用を変更して、右折車と直進・左折車を早い段階で分離させ、渋滞緩和を行うものである。令和2年度は、調査設計及び工事を実施する予定である。

《交差点付近の渋滞状況》

写真①

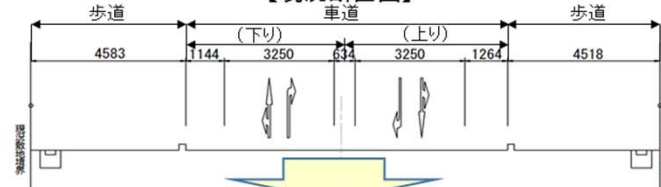


写真②

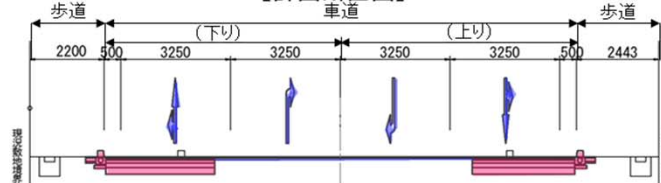


《標準断面図》

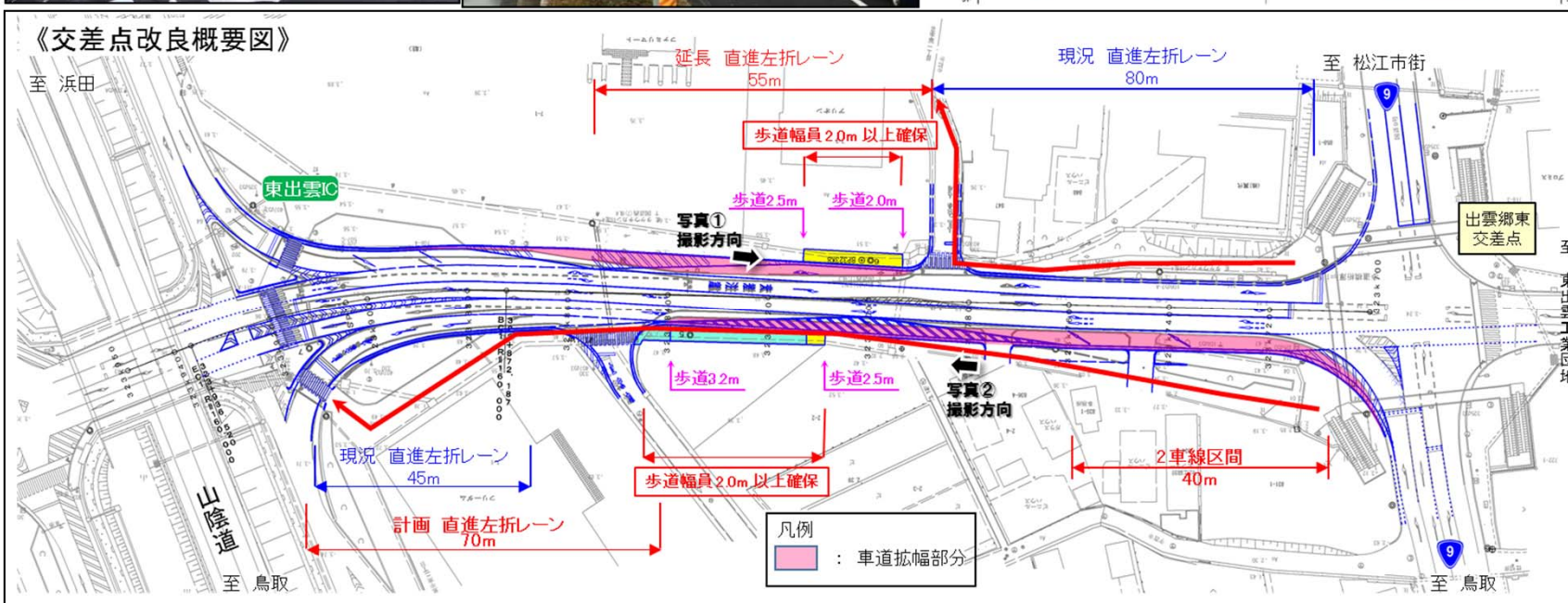
【現況断面図】



【計画断面図】



《交差点改良概要図》



一般国道9号 あだかえ ひがし 出雲郷東交差点改良事業

- ・交差点改良事業により、直進・左折車両の阻害を緩和することで、渋滞緩和が見込まれる。
- ・改良事業により、歩道幅員が若干、狭くなる。

写真③

現況(国道9号方向)



整備後(国道9号方向)



写真④

現況(山陰道方向)



整備後(山陰道方向)



※整備後の写真はイメージ図です。

一般国道9号 こまつ 小松歩道整備事業

事業概要

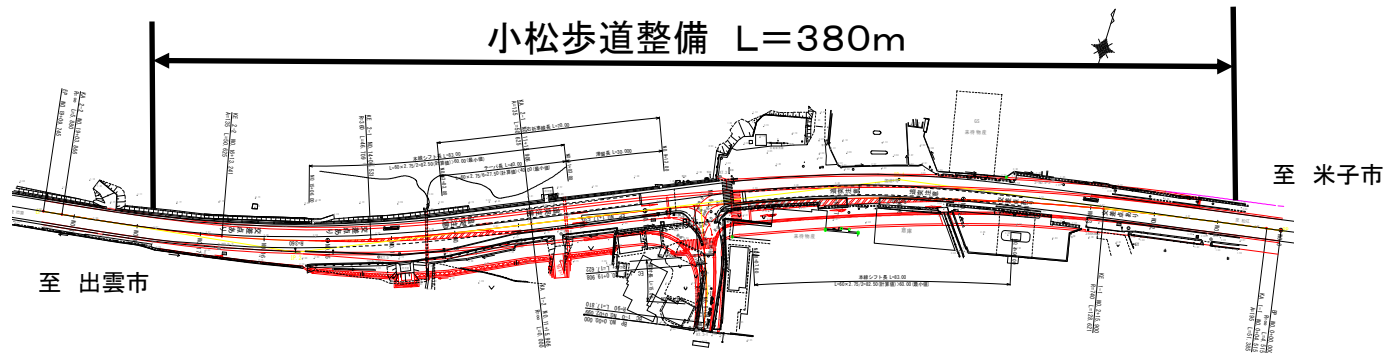
当該箇所は、宍道中学校の学校指定の通学路として指定されているが、一部歩道が狭く自転車の通行が危険な状況に置かれている箇所があり、隣接の私有地に迂回している。さらに、当該箇所の小松交差点は車両感应式・歩行者押しボタン式信号交差点であり、交通量が多く右折レーンが無いため、右折待ち車両の滞留や市道からの無理な進入による出会い頭事故が発生している。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間及び松江市通学路交通安全プログラムの対策必要箇所として、歩道を整備し、生徒等の歩行者が安全・安心に通行できる通行空間の確保を図ると共に、右折車線設置を行うものである。

令和2年度は、調査設計及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

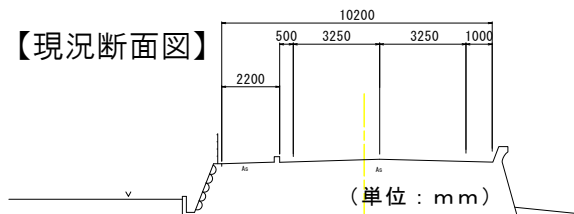


状況写真

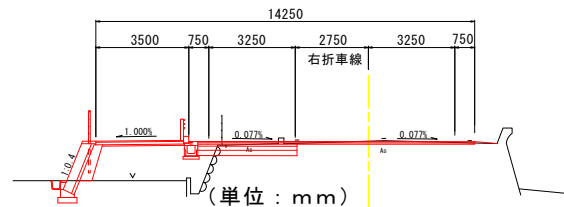


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 なおえ 直江交差点改良事業

事業概要

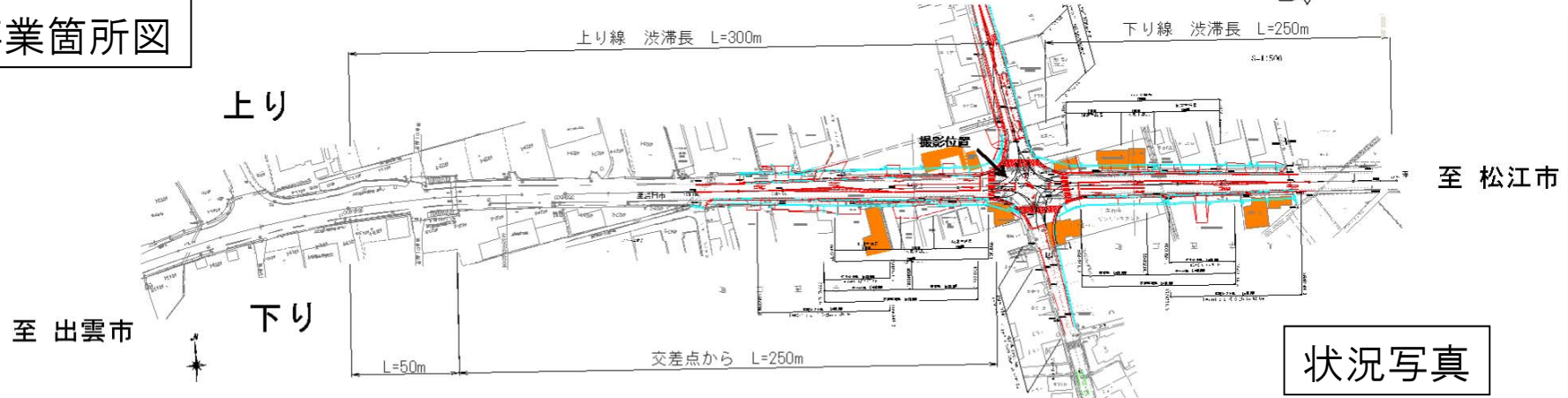
当該箇所は、国道9号と県道十六島直江停車場線とが交わる交差点であり、交通量が多く右折車線が無い為、右折待ち車両の滞留により追突事故が多発している。また、中部小学校の通学路として指定されており、国道9号横断のための歩行者溜まりもない狭幅な状況から危険な状況にある。

本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、右折車線設置により直進阻害を解消することにより交差点における事故防止および交通渋滞の緩和、解消を図るものである。

令和2年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。

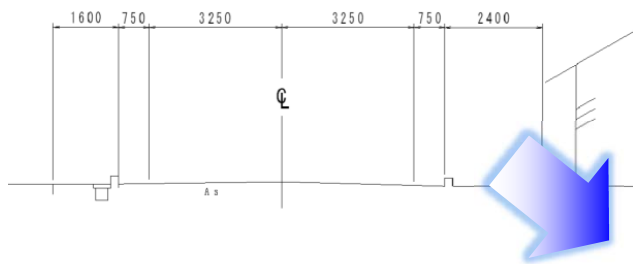


事業箇所図

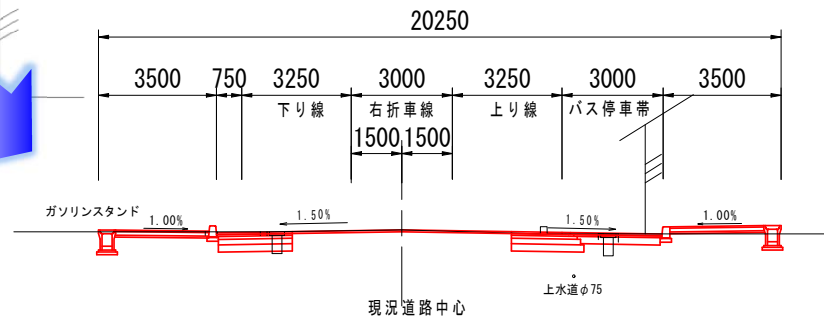


状況写真

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 中野町・姫原地区事故対策事業【新規】

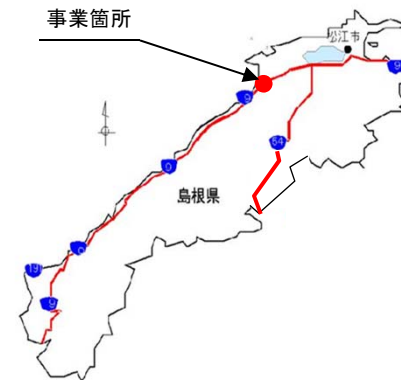
なかのちょう ひめばら

事業概要

当該箇所は、出雲市中心部で沿線には多くの商業施設や住宅があり交通量が多い地区である。交通量が2万台/日超と多い中、2車線道路のうえ信号交差点が連続していることなどから滞留した車両への追突事故が多発している。また、右折車線相互が正対化していないため、対向車への視認性が不足し、無理な右折行動による対向車との事故が発生している。

本事業は、付加車線設置による滞留長を低減する対策や、右折車線の正対化による対向車の視認性の向上を図り道路空間の安全・安心の確保を図るものである。

令和2年度は、調査設計を実施する予定である。



状況写真

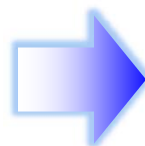
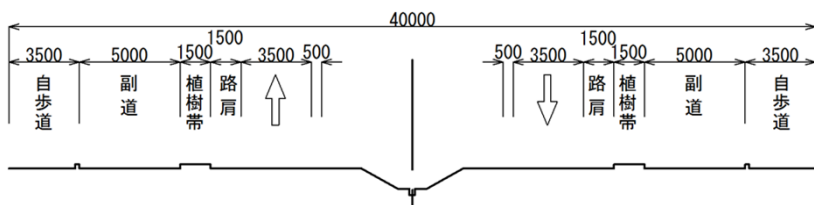


事業箇所図

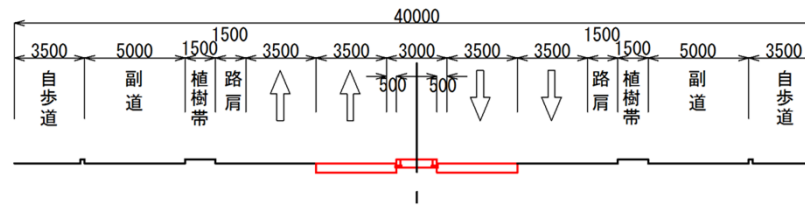


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道9号 仙山地区道路改良事業

せん やま

事業概要

当該箇所は、国道9号において道路曲線半径の小さい区間が連続する仙山地区のなかでも、特に小さい曲線半径箇所である。当該箇所付近では、車線を逸脱する正面衝突事故が多発しており、走行車輛が危険な状況に置かれている。

本事業は、最も曲線半径の小さいカーブについて線形改良(R90m→R100m)を行うとともに、必要な車線幅員・拡幅、適切な片勾配を附し、摩擦力の高い多機能型排水性舗装を敷設することで走行車輛の安全性向上を図るものである。

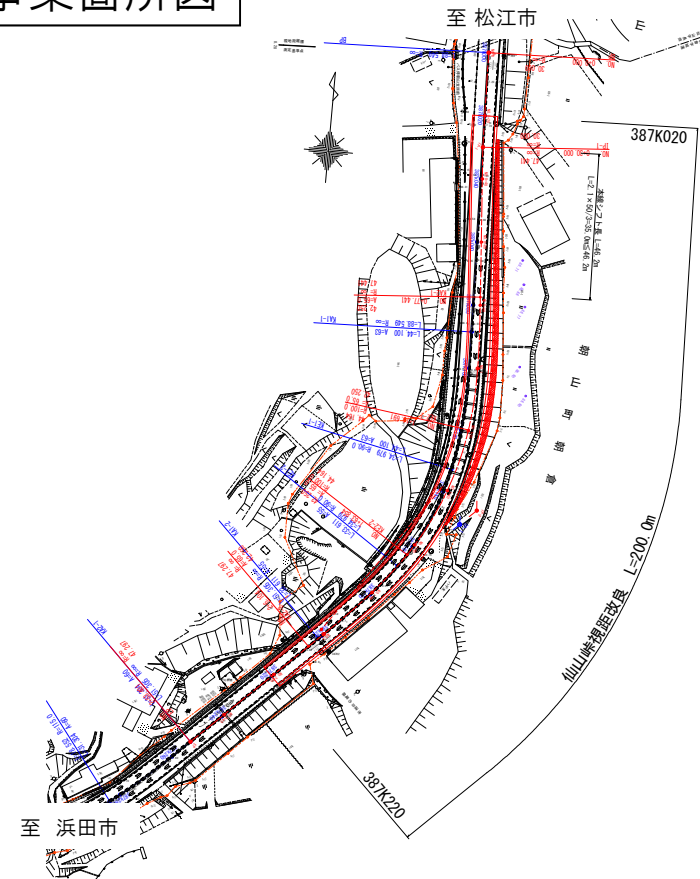
令和2年度は、調査設計及び用地買収を実施する予定である。



状況写真



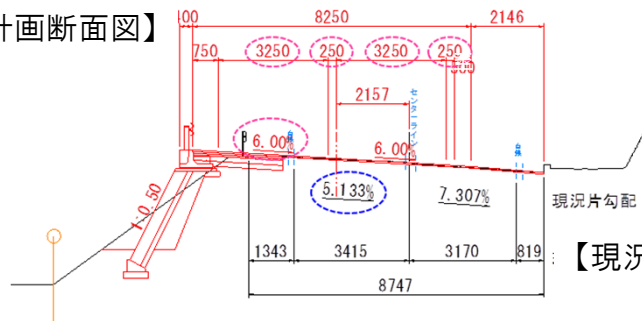
事業箇所図



標準断面図

国道9号 387K120付近

【計画断面図】



【現況断面図】

一般国道9号 福光交差点改良事業

ふくみつ

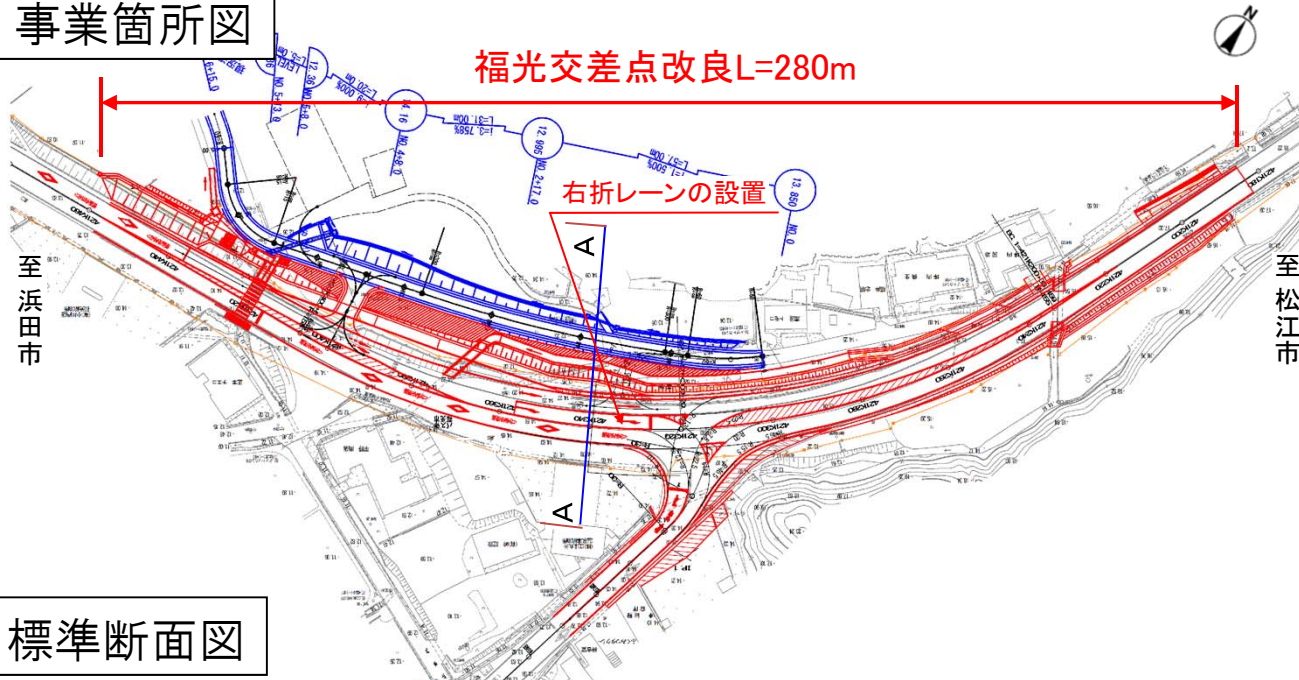
事業概要

当該箇所は、右折車線のない交差点であり、朝夕のピーク時を中心に右折待ち車両に伴う滞留が発生している。このため、交差点手前のカーブ区間での減速や停車により、追突及び出会い頭による事故が発生する危険な状態となっている。本事業は、右折車線の設置により、事故の削減を図り円滑な交通流の確保を図るものである。

令和2年度は、調査設計及び用地買収を実施する予定である。



事業箇所図

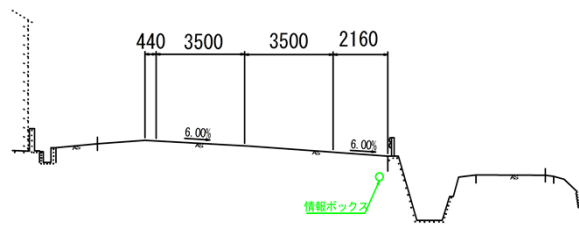


状況写真

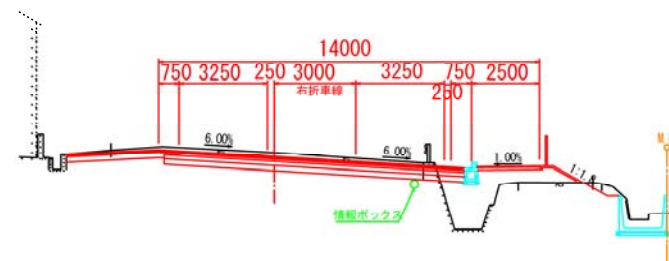


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道54号 里方自転車歩行者道整備事業

さとかた

事業概要

当該箇所は、国道54号と市道尺ノ内線・市道北側中央線が交わる交差点である。周辺には流通団地と工業団地があり、横断する歩行者及び自転車が多いものの、横断施設は約600m離れている箇所にあることから、国道54号の交通量が多い中無理な横断が見受けられる状況にある。また、斐伊小学校の通学路に指定されており、両歩道の整備が求められている。

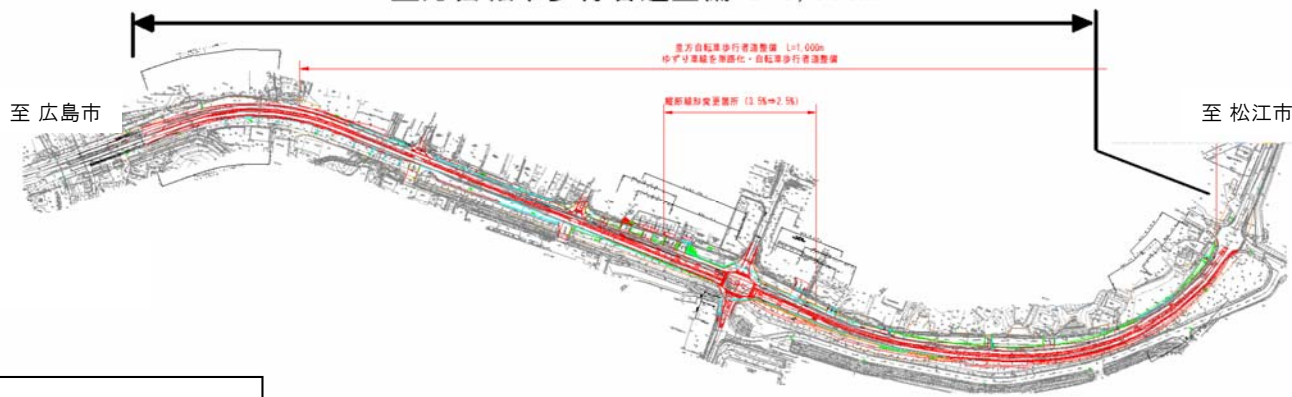
本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、国道縦断勾配の修正及び横断施設の整備を行うことにより、安全・安心に横断できる歩行空間の確保を行うものである。(※電線共同溝同時整備箇所)

令和2年度は、調査設計、用地補償及び工事を実施する予定である。



事業箇所図

里方自転車歩行者道整備 L=1,300m

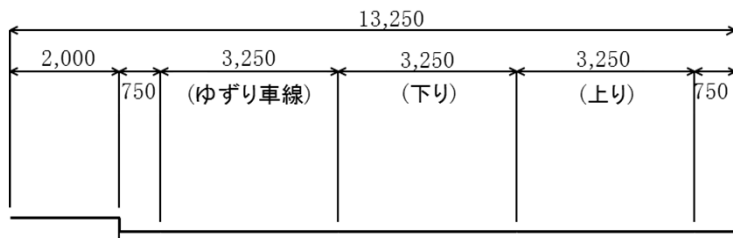


状況写真

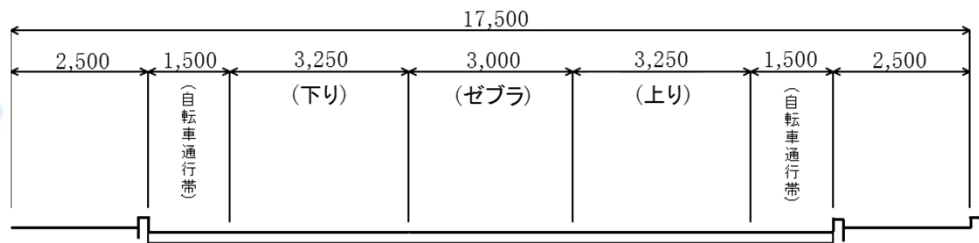


標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】



一般国道54号 やなぎばし 柳橋交差点改良事業

事業概要

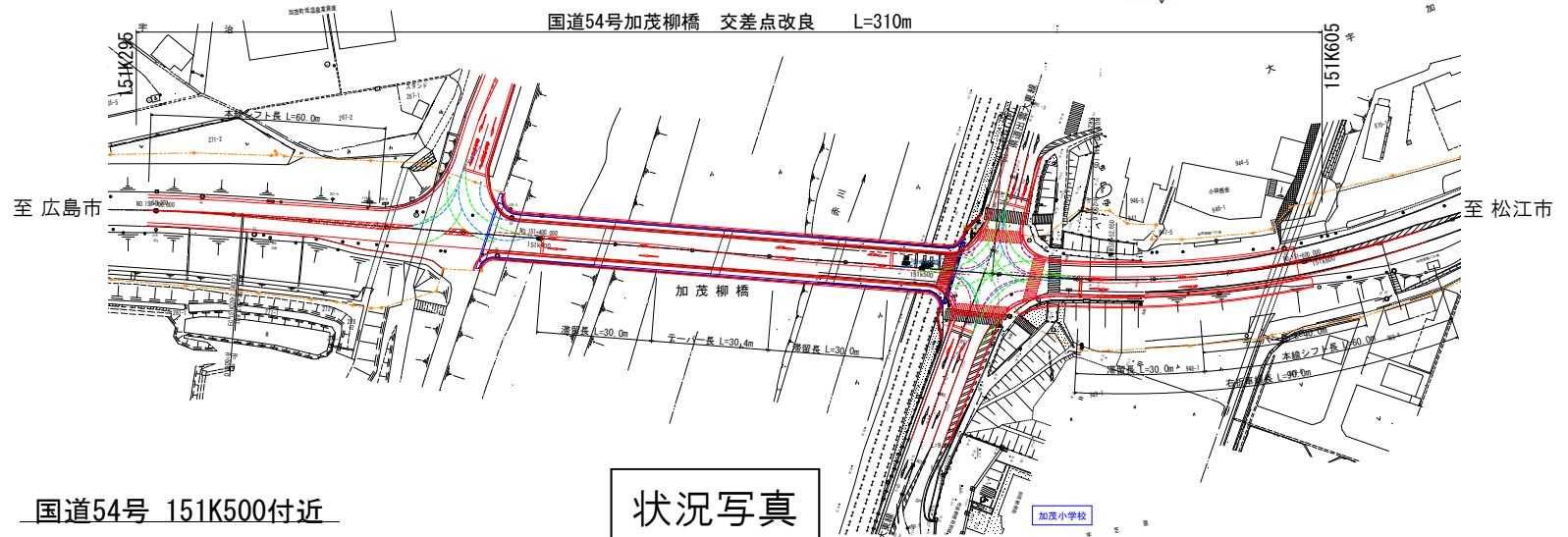
当該交差点は、加茂中学校・加茂小学校の通学路として指定されているが、横断歩道部の歩行者溜まりが狭小なため危険な状況にある。また、国道54号では右折車線が無いいため、右折待ち車両への追突事故が発生するなど危険な状況に置かれている。

本事業は、交差点隅切り部の余地を利用して歩行者溜まりの拡幅を図るとともに、加茂柳橋上で地覆拡幅および歩道のマウンドアップ化により、右折車線相当幅(W=1.5m)を確保して右折待ち車両への追突防止ならびに渋滞緩和を図るものである。

令和2年度は、調査設計及び用地補償を実施する予定である。

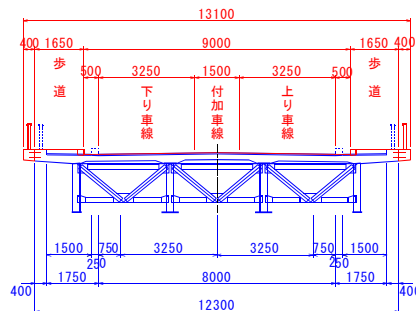


事業箇所図



標準断面図

国道54号 151K500付近



【計画断面図】

【現況断面図】

状況写真



一般国道54号 金丸団地入口交差点改良事業

事業概要

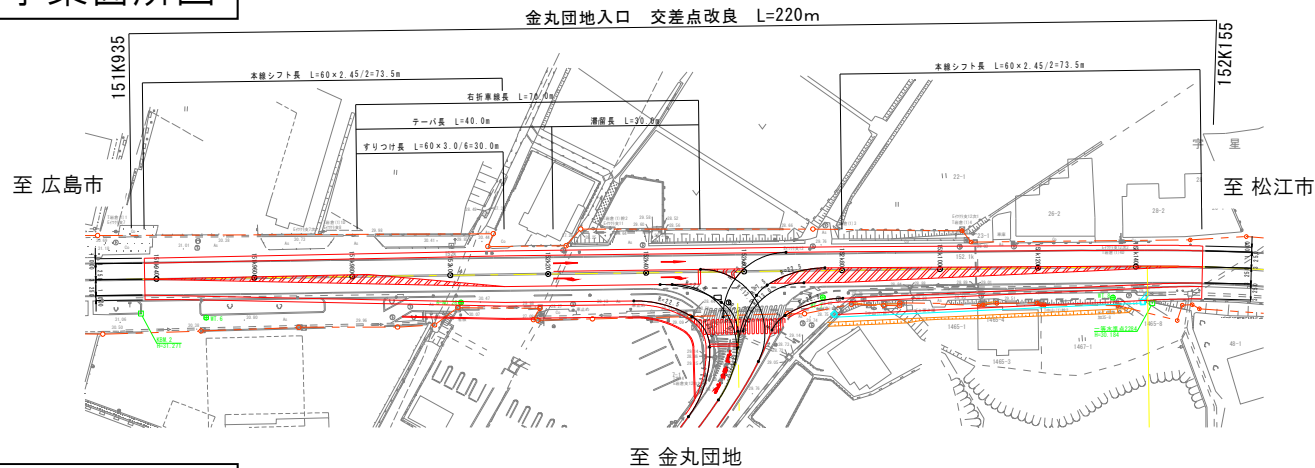
当該交差点は、市道中村家路線が接続する三枝交差点で、松江側の歩道は加茂小学校の通学路として指定されている。近年、中村家路線の沿線において出入り交通量の増加が見られるが、団地へ接続する当該交差点では右折車線が無い為、右折待ち車両への追突事故が発生するなど危険な状況に置かれている。

本事業は、右折車線(W=3.0m)を確保して右折待ち車両への追突防止ならびに渋滞緩和を図るものである。

令和2年度は、調査設計及び用地買収を実施する予定である。



事業箇所図

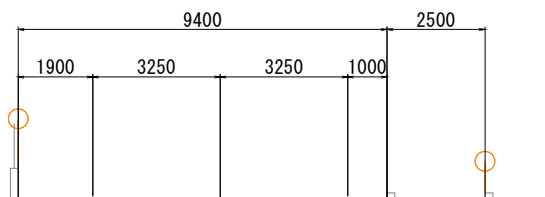


状況写真



標準断面図

【現況断面図】



【計画断面図】

